

皆さんに知ってほしい環境システム学科のこと、オリエンテーション合宿のこと

はじめに 環境システム学科へようこそ

2024 年度新入生の皆さん、**入学おめでとうございます**。そして、環境システム学科へようこそ！新生活に期待や不安などが入り混じる心境かと思います。そこで、ここでは**環境システム学科のこと**、そして**オリエンテーション合宿**のことを紹介します。

環境システム学科のこと

皆さんが学ぶ環境システム学科は 30 年以上の歴史ある学科であり、東大宮にある大宮キャンパスにあります。その学びの拠点となる 5 号館の前には、緑がまぶしい芝生広場が 2023 年末に誕生しました。皆さんは、大きく変わる大宮キャンパスで学んでいくことになります。

さて、皆さんが生きていく時代は、“VUCA(ブーカ※1)の時代”と呼ばれています。この未来の予測が難しい時代に生き残る人とはどんな人でしょうか？熱狂できることのある人、全てを投げうってでも打ち込むことのある人、**どのような状況でもブレない軸を持っている人は強い**。かしまった言い方なら“専門性を身に着けている人”と言えます。その専門性が社会に貢献できることならば、それは職業となります。ぜひ皆さんには大学時代に社会に貢献できる専門性を身に着けて欲しい。そのために、建築、都市、環境、情報を専門とする環境システム学科の教員は、皆さんへの協力を惜しみません。**皆さんの専門性を身に着ける舞台が環境システム学科にはあります**。専門性を身に着け、社会に貢献できる人になれるよう、ともに学んでいきましょう。

※1: VUCA = Volatility 変動性・Uncertainty 不確実性・Complexity 複雑性・Ambiguity 曖昧性の頭文字を取った造語で、社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況のことを意味

新入生オリエンテーション合宿のこと

入学式を終えた皆さんには、さっそく、新入生オリエンテーションに参加してもらいます。このオリエンテーションは環境システム学科での 4 年間のエッセンスを学ぶ時間です。**専門性を身に着けるための入門編**といっても良いかもしれません(※2)。今年のオリエンテーションは、**5 年ぶりの合宿形式での開催**となります。以下、オリエンテーション合宿の詳細を説明します。

※2: 昨年 2023 年度の例。「東大宮というまち、そして仲間たちとの出逢い 新入生オリエンテーション 2023」 <https://www.paes.shibaura-it.ac.jp/news/2023/1423/>

Why なぜ、令和の時代に合宿を実施するのか？

皆さんが大学生活という新しい環境に期待と不安を抱く中、**同級生や先輩、教員と時間を共有し、議論し、“同じ釜の飯を食う”ことで生まれる一体感を高めることに合宿の意義がある**と考えました。私たちはコロナ禍でのオンライン環境を経て、場と時間を共有することの大切さにも気づけました。合宿という非日常な環境において親睦を深めた同級生、先輩、教員との絆はこれから始まる 4 年間の大学生活の礎(いしずえ)となるはずで、予算は現在計算中で、1 万円以内を想定。

What 合宿で何をするのか？

この合宿で、皆さんは環境システム学科での学びを先取りした**社会課題解決型ワークショップに参加**します。「多様な視点から建築、都市、環境、情報を見る」「異なる意見を持つ人と話し合う」「人にわかりやすく伝える」など**環境システム学科が大切にしている学びのエッセンスを体験**してください。現在の社会課題を発見し、その課題に対して建築、都市、環境、情報の視点から解決策を提案します。また、**合宿は同級生、先輩、教員とも交流する時間**でもあります(自己紹介アンケートはそのためです)。合宿における学びと交流が皆さんの大学生活の一助となることを願っています。

How 2 日間にわたる合宿という非日常の中で学びます。

グループを作り、街歩きや社会課題を解決するグループワークを実施し、最後に発表してもらいます。それぞれのグループには先輩と教員も参加します。**合宿という非日常に身を置くことで、同級生、先輩、教員たちとの距離が縮まります。**

Where 合宿の舞台は東京のど真ん中、原宿・青山！

いよいよコロナ禍が明け、皆で街に飛び出すことが出来ます。そこで、**合宿の開催地は、東京のど真ん中、原宿・青山地区(※3)**とします。著名建築家による名建築が集まり、街路樹や神宮の森など、緑あふれる街並みがあります。おしゃれ、カワイイカルチャーの集積地には、多くの外国人観光客も訪れます。皆さんにはこの街を舞台にグループワークを実施してもらいます。

※3: 宿泊は国立オリンピック記念青少年総合センター

When 入学直後の皆さんが合宿をやることに意味があります。

皆さんの入学直後である 4/10(水)と 11(木)の一泊二日で合宿を実施します。仲良くなっていないのに合宿？いえ、**仲良くなるために入学直後に合宿をやるのです。**

Who 先輩と教員とともに学びます。

君らの先輩である大学院生と教員がオリエンテーション合宿と課題解決型ワークショップを計画、準備、実施します。しかし、**皆さんが参加して、このオリエンテーション合宿は初めて成立します。**

おわりに 大学での学び、環境システム学科での学びとは？

街や社会の課題(問い)を探し、それに自らの解決策(答え)を提案する。高校生までの学びは先生が用意したテストに答えを埋めていくものでした。しかし、大学での学び、環境システム学科の学びは、自ら問いを見つけ、自らが生み出し答えるものになります。「**正解を探す学びから、正解を作る学び**」へ。その学びは大学卒業後、社会へ飛び出す際に必要なチカラとなります。これから始まる環境システム学科での学びのエッセンスをぜひオリエンテーション合宿で体験しましょう。

以上

2024 年度 環境システム学科 一年生担任教員 山寄一也(やまざきかずや)